



京	都	丹	波						
オ	レ	ン	ジ	ロ	ー	ド		第20号	
つ	な	げ	隊	隊	員	だ	よ	り	

令和8年3月発行

京都丹波オレンジロードつなげ隊員登録者56名（R8.2月末現在）

令和7年度つなげ隊活動報告

《★…裏面に詳細を掲載》



- 30日** ・圏域会議 ●
 ・若年性認知症研修会
 ～認知症と共生する社会を考える会～
 ・美山あいの会（介護者の会）でさしこ体験

- 4日** 京丹波町認知症家族会
5日 診療所の通院患者に向けて啓発 ●
6日 京丹波町隊 第1回企画会議
22日 子育て支援協議会においてリーフレット等配架



●寄せ植え体験の様子

➔ ●【若年性認知症啓発】
 園部労働基準協会定期健診
 の場で動き盛りの人に向けて
 啓発を行いました



- ★ 亀岡市・南丹市各所でライトアップ
- ★ 亀岡市・京丹波町 図書館で認知症図書コーナー設置
- ★ 南丹保健所でアルツハイマー月間の展示 ● と庁内放送
- ★ 南丹保健所 啓発資材としてロゴのシール作成

- 4日** 京丹波町認知症家族会
18日 京丹波町隊 第3回企画会議
20日 亀岡市市民公開講座「オレンジラップ」上映・街頭啓発
28日 京丹波町 福祉まつりで啓発 ●
18日 京丹波町ウェルネスフェスタ 2025 で啓発 ★
19日 亀岡市「第36回 市民福祉のつどい」で啓発 ★

- 25日** 明治国際医療大生と共催開催の健康教室で啓発
25日 京丹波町隊 第4回企画会議
30日 亀岡市「健康いきいきフェスティバル」で啓発 ◆



◆ 認知症の勉強会と、介護への思いを語り合いました

◆ 【クリスマスボランティア体験】
 「クリスマスツリー飾り制作コーナー」で啓発しました



➔ ●脳トレ園部

- 1日** つなげ隊だより発行
2日 京丹波町隊 第5回企画会議

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月



➔ ●【圏域会議の様子】
 つなげ隊員7名に加え、新隊員希望者、眞継看護師、研修会講師の認知症応援大使の下坂氏で今後の啓発のあり方について話し合いました

●【診療所での啓発の様子】
 診療所待合室にて『認知症の気付きチェックリスト』に回答していただきながらお話を伺いました



- 17日** 地域職域事業における健康づくりコーナーでの啓発活動（若年性認知症啓発） ●
30日 京丹波町隊 第2回企画会議



- 1日** つなげ隊だより発行
7日 ワークショップ（寄せ植え）認知症ミニ講座 ●
 （南丹市オレンジガーデンニングプロジェクトの一環）



●保健所展示の様子

●【福祉まつり】
 声かけをしながらチラシ等配布しました



◆【亀岡市「健康いきいきフェスティバル」】
 パンフレット配布、ポスター掲示、認知症クイズを実施しました



- 14日** クリスマスボランティア体験で啓発 ◆
18日 男性介護士の会で啓発 ◆
23日 脳トレ園部介護予防教室で啓発



◆【クリスマスボランティア体験】

- 13日** 南丹元気アップ体操教室の脳トレタイムに認知症の話をしました



- 8日** 脳トレ園部で風船を使ってゲームをしました ●
24日 南丹保健所 啓発資材とし管内オリジナルポケットティッシュ作成 ★



つなげ隊だよりの発行は今回が最後となります。長らくお読みいただきありがとうございました。



10月18日(土)

★『京丹波ウェルネスフェスタ 2025』での啓発



京丹波ウェルネスフェスタ2025の認知症啓発ブースで啓発活動をしました。版画家の当事者の方にも活動に参加いただき、来場者の方に向けて版画の作品や作業工程について説明をしてもらいました。

地域と関わる時間を持ち、閉じこもらず、地域社会と関わり、社会参加の機会としてご協力を頂きました。

当事者の方が啓発活動に参加されたことは初めてでしたが、緊張される様子もなく

来場された方と版画を通して

心を通わし、地域社会のひとりとして

過ごしていただけたと思います。

隊員はご本人とコミュニケーションを

とりながら、版画を通じてご本人に寄り

添い、来場者への認知症について

の説明やちょっとした相談や窓口の

案内等を行うことができました。



★『亀岡市 第36回 市民福祉のつどい』での啓発

10月19日(日)



毎年亀岡市の道の駅「ガレリアかめおか」開催されている『市民福祉のつどい』で今年も啓発活動をしました。

今年は「聞かせてください！認知症とともに生きる私たちの想いや願い」というテーマで、メッセージツリーを用意し、花型のメッセージカードにたくさんのメッセージを書いて貼ってもらいました。

「何を書いたらいいんやろう」と悩んでいる方には、自分や家族が認知症になったとき、どういう社会であってほしいか、地域にどう支えてほしいかを自分事に置き換えて考えてみたらどうでしょう？と声かけをすると、真剣に考えてメッセージを書いてくれ、たくさんの花を咲かすことができました。



「共生社会」「新しい認知症観」の実現のためには、個々の認知症への理解と自分事として考えることが重要であり、身近に認知症の人との関りが無い方にとっては、こういった啓発活動の場で、知ってもらふことの大切さを改めて感じました。

新しい啓発グッズのご紹介

Part 1

つなげ隊のロゴ「フクロウ」を印刷した**ロゴステッカー(シール)**を作成しました。

10月18日開催のウェルネスフェスタでは、来場者の方には、当日参加された版画家の当事者の方の絵葉書にステッカーを貼って、記念に持って帰ってもらいました。

配布してもよし、体験コーナーなどで実際に貼って持って帰ってもらってもよし、ぜひご活用ください！
(形状：直径9cmの円形)



Part 2

南丹管内独自のポケットティッシュを作成しました！
認知症の相談窓口として、南丹管内の地域包括支援センターを載せたチラシを挿入したものです。
地域での啓発活動にぜひお役立てください！



啓発活動で、啓発品のご使用後は活動報告の提出をお願いします

南丹保健所 保健課 地域包括支援係
担当：豊島・中西
TEL 0771-62-3260 FAX 0771-63-0609